

東京2020 パラリンピック

号外

朝日小学生新聞

©朝日学生新聞社 記事の一部は朝日新聞社の提供です

朝日学生新聞社

〒104-8433 東京都中央区築地5-3-2 朝日新聞社新館9階
電話 03-3545-5223(広報) 03-3545-5222(編集)
購読申し込み 0120-415843 ウェブサイト www.asagaku.com



男子走り幅跳び(上肢障がいT47)でジャンプするアフガニスタンのホサイン・ラスーリ選手。8月31日、国立競技場。©朝日新聞社

アフガン選手

夢の舞台に

一時断念も急ぎよ参加

政権が崩壊したことから東京パラリンピックの開会式に出られず、国旗と国名のプラカードだけで入場行進をしたアフガニスタン。フランスのパリにのがれて練習を続けていた2人の選手が、急ぎよ参加できることになりました。ホサイン・ラスーリ選手(26歳)は8月31日、陸上男子走り幅跳び(上肢障がいT47)に出場。最下位でしたが、全力をつくしました。9月2日には、ザキア・フダダデイ選手(22歳)がテコンドー女子に出る予定です。

国際パラリンピック委員会は「選手たちはアフガニスタンや世界の人々に対し、希望や平和、連帯をうつたえる」と説明しています。